

## 生活援助技術論Ⅱ（清潔・排泄の援助技術）

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 6時間 演習 16.5時間
期 間	後期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

健康的な日常生活行動を促進するための清潔を援助する技術・排泄を促す技術について、講義と演習を通して学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

実施する看護技術（清潔・排泄の援助技術）の原理・原則を理解し、援助実施の際には相手を尊重し、安全安楽な援助方法を考えて実践できるようになる。授業内容の理解、演習への積極的な参加、主体的な自己学修（視聴覚教材の利用を含む）を通してその方法を身に付けることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4

・到達目標（SBO）

1. 清潔の意義と援助の目的を説明できる。
2. 入浴の意義と身体への影響、入浴援助の方法を説明できる。
3. 清拭の方法と留意点を説明できる。
4. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた清拭を実施できる。
5. 足浴の方法と留意点を説明できる。
6. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた、足浴を実施できる。
7. 洗髪の方法・目的・留意点を説明できる。
8. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた洗髪を実施できる。
9. 休息・睡眠の意義とメカニズム、その援助について説明できる。
10. 整容の目的・方法・留意点を説明できる
11. 衣服の意義と寝衣交換の目的・方法・留意点について説明できる。
12. 排尿・排便の意義とそのしくみを説明できる
13. 様々な状況に応じた排泄援助の方法と留意点を説明できる。
14. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた陰部洗浄とおむつ交換が実施できる。
15. 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた自然排尿・排便への援助が実施できる。
16. これまで学んできた看護技術の中から、患者の状態に合わせた援助方法を選択し、実施することができる。
17. 演習で経験する技術修得に向けて主体的に行動することができる。

・ 授業日程

(矢) 西 1-A 講義室、 (矢) マルチ 4-A 講義室  
 (矢) マルチ 2-A 実習室、 (矢) マルチ 2-B 実習室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/13	火	1	共通基盤看護学講座	柏木ゆきえ 特任准教授	身体の清潔を援助する技術 ・ 清潔の意義と援助の目的を説明できる ・ 入浴の意義と身体への影響、入浴援助の方法を説明できる
9/13	火	2	共通基盤看護学講座	柏木ゆきえ 特任准教授	身体の清潔を援助する技術 ・ 衣服の意義と寝衣交換の目的・方法・留意点について説明できる
9/27	火	2	共通基盤看護学講座	小林 由美子 講師	排泄を促す技術 ・ 排尿・排便の意義とそのしくみを説明できる ・ 様々な状況に応じた排泄援助の方法と留意点を説明できる
10/17	月	3	共通基盤看護学講座	小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術 ・ 洗髪の方法・目的・留意点を説明できる ・ 整容の方法・目的・留意点を説明できる 休息・睡眠を促す技術 ・ 休息・睡眠の意義とメカニズム、その援助について説明できる

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
9/16	金	2	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術(清拭) ・ 清拭の方法と留意点を説明できる ・ 相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた清拭を実施できる

9/16	金	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術 (寝衣交換) ・清拭の方法と留意点を説明できる ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた清拭を実施できる
9/22	木	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術(足浴) ・足浴の方法と留意点を説明できる ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた足浴を実施できる
9/22	木	5	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術(足浴) ・足浴の方法と留意点を説明できる ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた足浴を実施できる
9/30	金	1	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	排泄を促す技術 (陰部洗浄) (おむつ交換) ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた陰部洗浄とおむつ交換が実施できる
9/30	金	2	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	排泄を促す技術 (尿器・便器) ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた自然排尿・排便への援助の実施できる
10/24	月	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術(洗髪) ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた洗髪を実施できる
10/24	月	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	身体の清潔を援助する技術(洗髪) ・相手の反応を確認しながら、根拠に基づいた洗髪を実施できる
10/28	金	2	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	技術到達度の確認 ・これまで学んできた看護技術の中から、患者の状態に合わせた援助方法を選択し、実施することができる

10/28	金	3	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	技術到達度の確認 ・これまで学んできた看護技術の中から、患者の状態に合わせた援助方法を選択し、実施することができる
10/28	金	4	共通基盤看護学講座	菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 特任准教授 小林 由美子 講師	技術到達度の確認 ・これまで学んできた看護技術の中から、患者の状態に合わせた援助方法を選択し、実施することができる

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシング・グラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術 第1版	松尾ミヨ子 城生弘美 習田明裕 金壽子 編集	メディカ出版	2022
参	看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版	医療情報科学研究所 編集	MEDIC MEDIA	2018
参	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第2版	任和子 井川順子 秋山智弥 編集	医学書院	2017

・成績評価方法

筆記試験 70 点、演習への取り組み 30 点の合計 100 点とする。  
\*演習への取り組みは、技術到達度の確認、演習の参加状況・態度と指定された提出資料の内容・提出期限の厳守、学修課題の実施状況（課題レポート、視聴覚教材の視聴）も含む。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

- ・シラバスに記載されている授業内容および到達目標を確認し、予習した上で授業に臨むこと。
- ・本科目での指定の教科書だけでなく、解剖生理学など広く授業内容に関連した教科書の章を事前に読んで参加すること。
- ・演習開始前には、関連する教科書の章および配布資料を読む、“e ナーストレーナーの動画”または、“WebClass にあげた動画”の視聴覚教材を視聴するなど、イメージトレーニングを行って、学修のポイントを理解した上で参加すること。また、各回で予習復習を目的とした学修課題が提示されるため、その課題に取り組むこと。
- ・各授業について、最低 30 分以上の事前学修を要する。

- ・看護技術の修得は、繰り返し実施することが必要なため、授業終了後も主体的に技術練習を行い、自己学修を重ねて知識と実技の定着に努めること。
- ・授業時間を有効に使用するために演習時は物品片付けで授業時間外になることがある。
- ・演習の準備と片付けに主体的に参加すること。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

レポート等の課題は、適宜コメントし返却する。

技術到達度の評価は評価表に基づき評価し、学生にフィードバックする。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表3）：専門分野 基礎看護学

- ・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン (DELL New Inspiron 15(5515))	1	講義
演習	万能型看護実習モデル“八重”	12	清拭・洗髪・陰部洗浄
演習	清拭車、タオルウオーマー	2	清拭
演習	洗髪車	2	洗髪
演習	尿器	12	排泄
演習	便器	12	排泄